

せと市議会だより

令和7年3月定例会

NO.
113

2025
5月号

特集

令和7年度当初予算を徹底審査 P2-3

～各分科会の主な審査内容をお知らせします～

📷 朝日インテック・ラブリッジ名古屋

関連記事 ➡ P7

なでしこリーグ1部で活躍する女子サッカーチーム。

昨年はリーグ3位と優勝まであと1歩のところでした。今年こそは悲願の優勝めざして、旧古瀬戸小学校の専用グラウンドで日々練習に励んでいるチーム取材しました。



令和7年度当初予算を徹底審査 ～各分科会の主な審査内容をお知らせします～

総務生活分科会

常備装備費・消防施設費について

事業内容▶ 消耗品などの購入費や消火栓、防火水槽修繕費、車両点検などへの費用となる。

議会の視点▶ 前年度予算に比べて、装備費及び施設費が大きく減っている。

Q 常備装備費と消防施設費は、昨年度に比べて予算額が大きく減っており消防業務の基盤は大丈夫なのか伺う。

A 減額になったのは、8消防本部指令業務の開発整備費など負担金の差額及び消防車両更新の金額約1億6,000万円の差が生じているためであり、事業の縮小によるものではなく、更新車両金額の違いであるため、消防業務への影響はない。



総務生活分科会

財政調整基金繰入金について

事業内容▶ 当初予算で財政調整基金を取り崩す。

議会の視点▶ 歳入の内、財政調整基金繰入金10億円はどのように支出するのか。

Q 財政調整基金繰入金10億円の内訳について伺う。

A 基金繰入金10億円の主な内訳は、小中学校・保育園等の給食費値上げに対する保護者負担の据置分約7,100万円や公共施設の電気料金高騰分約5,000万円のほか、その他の財源調整分約7億2,300万円などである。

総務生活分科会

自治連合会補助金について

事業内容▶ 自治連合会に所属する20連区への補助金を毎年度行っている。

議会の視点▶ 瀬戸市自治連合会への加入率が減っている問題について。

Q 自治会加入の危機的な問題について、瀬戸市の加入率約70%弱の現状について伺う。

A 連区によって加入率に差異はあるが、平均で約67%であり、近隣市の尾張旭市は約57%、長久手市は約50%、春日井市は約56%と比べ、本市の加入率は高い方であると考えている。



都市活力分科会

都市計画マスタープランについて

事業内容▶ 都市計画マスタープランで示した「多極ネットワーク型コンパクト構造」の実現に向け、持続可能な都市経営を行っていくため、コンパクトな都市づくりを行うことを目的とする。

議会の視点▶ 都市計画マスタープランに即し、都市計画と公共交通の一体化を図りつつ、コンパクトな都市づくりを進める。新瀬戸・瀬戸口駅前広場利活用業務委託。

Q 瀬戸口駅周辺について何を検討しているのか伺う。

A 瀬戸口駅北口の駐車場の利用率が低いと、駅前広場も含めて利活用の検討をしていく。

合計当初予算額 871億1,942万円

※1万円以下切捨て

一般会計予算	496億6,000万円	(前年度比+8.52%)
特別会計予算	265億2,100万円	(前年度比+5.38%)
企業会計(水道・下水道)予算	109億3,842万円	(前年度比+16.43%)

内訳



審査のようすは、議会録画映像などでご覧になれます



厚生文教分科会

やすらぎ会館の入浴施設の廃止について

事業内容▶ やすらぎ会館3階の老人福祉センターにて、60歳以上の方が、無料で入浴できる施設を、令和7年3月末で廃止するもの。

議会の視点▶ 利用者の視点、市民サービスとしての必要性の視点、意思決定の経緯など。

Q 利用者の立場に立った代替案は検討されたのか。また、一人当たりの費用は実際にどれくらいかかっているのか伺う。

A 入浴施設そのものの代替案は検討していないが、通所での入浴介護サービスの利用や民間サービスの入浴施設などの利用を案内している。また、一人1回の入浴で1,140円かかっている。(光熱水費含まず)



厚生文教分科会

こども若者(家庭)センターへの相談状況について

事業内容▶ 令和3年4月に設置された「子ども・若者センター」にこども家庭センター機能を追加し、令和7年4月に「こども若者家庭センター」を設置する。

議会の視点▶ 年齢による切れ目のない支援を受けられる体制を強化できているか。

Q 相談のなかでも児童虐待など深刻な養護相談が増えているとのことだが、どのような状況か伺う。

A 0歳から概ね39歳までの子ども若者を対象に年間3,000件ほどの相談と支援の対応を行っている。今年度は総件数的には横ばい高止まりで、性的虐待などの重度な案件が増えており、相談対応においては小中学生の年代が増加している。また本市は、身体的虐待の割合が国の平均より高い状況。

厚生文教分科会

みつば小学校の教室数について

事業内容▶ 令和8年度より原山小学校及び萩山小学校を八幡小学校の敷地に統合し、みつば小学校とするもの。

議会の視点▶ にじの丘学園では児童数増加に伴い、校舎増築工事を行う。みつば小学校はどうか。

Q 児童数が減ったことで統合するが、菱野団地再生計画を含め、今後児童数増加も考えられる。教室数はどのように想定しているのか伺う。

A 学年進行表によると、令和8年度みつば小学校開校時には児童数444名16学級、令和12年度には364名13学級を想定している。



予算大綱説明



瀬戸市長 川本 雅之

第6次総合計画に掲げる将来像の実現のため、『住む・働く・学ぶ・育む』の4つの暮らしの要素を整える施策として、市内初の施設分離型小中一貫校となる「みつば小学校」の整備や「こども若者家庭センター」を新たに設置するなど、子ども・若者の健やかな成長への切れ目のない支援に取り組んでまいります。

また、近年の異常気象による熱中症対策など、子どもたちの命を守る対策や南海トラフ地震が起きた際の備えが喫緊の課題と捉え、『守る』という要素を念頭に

置き、小中学校の屋内運動場への空調の設置と断熱化を進めてまいります。

なお、第6次総合計画は9年目に入り、令和6年度には、各部署での事業評価や、職員との対話を実施し、補助金や市民サービスのあり方など具体的な事業見直しと「次期将来計画」の策定に着手しております。

令和11年に迎える市制施行100周年、さらには次の100年を見据えて、本市のありたい姿、あるべき姿を想い描き、将来に夢を描くことのできる計画を作ってまいります。

代表質問



高島 新
島 政
淳 クラ
ブ



3月定例会では、5人の議員が会派を代表して代表質問を行い、新年度の予算や市政運営についてそれぞれ質問をしました。質問を行った順に各会派2問ずつ主な質問と答弁を紹介します。

令和7年度当初予算について

Q 今回の全予算規模は約871億円となり、過去最高額となっている。川本市長としての令和7年度は具体的にどこに重点を置き財政の健全化を進め、予算編成をされたのか伺う。

A 令和7年度は「第6次総合計画」に掲げる将来像の実現、総括に向けた編成としている。居住環境の向上と子育て世代にとって魅力のあるまちづくりを推進し、新産業分野の企業誘致、地元雇用の創出・拡大など、市税収入の安定的な確保に努めながら、DXを活用した市民の暮らしの向上、都市機能の再配置・再構築などによる地域の活性化などに取り組んでいく。

市長が約束をしたゴミの減量について

Q 現在まで、ゴミの総量についてはそれほど減っていない。三市足並みを揃えて、取り組んでいくのであれば、市長が率先して他の2市との調整や協議を行っていくべきである。市長は「2年程度様子を見る」と言っていたがその結論はいつ公表されるのか伺う。

A 本市の総ゴミ排出量は3%程度の減量にとどまっている。「瀬戸市一般廃棄物処理基本計画」の目標値の達成にはこれまで以上の取り組みが必要である。今後もゴミの排出量について、取り組みを進め、社会情勢、近隣市の動向なども踏まえ、方針が確定した折には説明をしていく。

公文書管理条例について



戸田 市民
由久 の声



Q 公文書は民主主義の根幹を支える国民共有の知的財産、かつ国民が主体的に利用できるものでなければならないとされる。本市においても適切な公文書管理の推進が求められている。令和7年度に公文書管理条例制定に関する行政の考え方を伺う。

A 公文書管理の推進については、法の趣旨に沿った管理を行い、文書取扱規程を補完する役割となる「公文書の作成に関する指針」を定め、本年4月から運用を開始し、引き続き情報公開制度と一体的に公文書の管理を行う。

消防庁舎の新築について

Q 広域消防運営計画に基づき、消防広域化に伴う消防庁舎の新築や地域防災拠点施設、常備消防資機材などに、交付税参入率70%の財政措置がされる地方債のメニューがある。令和7年度に広域化に向け関係首長に了承を得る考えはあるのか伺う。

A 本市は「消防広域化研究会」に参加しており、令和7年度には、広域化の実現に向けた協議会への参画について関係する市町村が判断します。この過程で本市消防庁舎の整備方針を定めていく。



長江 新
公夫 風
の会



令和7年度予算編成についての基本方針について

Q 令和7年度予算の編成にあたっては事業評価と対話による事業見直しを踏まえて、その編成に取り組んだとされているが、事業評価そのものが公表されていないために、その評価内容や評価の基準も分からない状況である。それらを明らかにしていく考えはあるのか伺う。

A 第6次総合計画に掲げる将来像の実現・都市像の達成に寄与しているか、事業の改善に取り組める余地はないかなどの視点から「事業評価」を行い、「対話」を踏まえて事業見直しに取り組んだ。令和7年度予算に反映したものは、「事業評価と対話による事業見直し報告書」としてとりまとめている。

学校給食費の無償化について

Q 新年度からの給食費値上げについては、諸物価高騰に伴い給食の質と量を担保するためには必要な措置であり、令和7年度に限り家庭の負担が増えないようにしている。しかしながら無償化については、市長の公約の一つでもあることから、無償化に向けた方向性を示すべきではないか伺う。

A 子育て世帯の負担軽減を図るための「18歳までの子どもの医療費無償化の実施」や「小中学校体育館のエアコン整備の計画」など「育む」要素の充実に全力で取り組んできた。学校給食費に係る負担軽減についても引き続き検討を行っていく。

本市の行財政運営を検証し、住民福祉の増進に資する政策の実現を



浅井 日本
寿美 共
産党



Q 本市の実質収支額(市の総収入から使った金額を引いた額。使われずに残ったお金)は令和2年度から令和6年度、5年連続で20億円を超える見込み。一方、2月の「事業評価」と「対話」による事業見直しなど報告書で、「検討」となっている事業で、やすらぎ会館の浴場は1月に廃止を公表し、市民サービスセンター廃止が議案となっている。市民生活の実態や事業の必要性、市民意見を十分に反映したものなのか伺う。

A 社会や市民のニーズを踏まえた事業であるかの検証を庁内で行い、職員との対話を経て方向性を整理した。

新たな産業廃棄物処理場を許さず、市民の命と暮らしを守る環境を

Q 現在手続きが進められている産業廃棄物処分場は、15年前にオール瀬戸で中止に追い込んだ計画である。馬ヶ城浄水場の取水口から約70mであり、また排水が放流される矢田川、山口川の水は農業用水として利用される。今回新たに危険なアスベストや水銀などが持ち込まれ、飲料水、農業用水への影響が強く懸念される。すでに瀬戸市には8件の最終処分場(愛知県28件の3割)が存在している。今回の計画に対する認識を伺う。

A 自治会などでの説明会を始めとする条例上の手続きによる協議状況などを鑑みて、適切に判断し、対応する。

がん患者アピアランスケアの支援について



長江 公
秀幸 明
党



Q 本市は、令和4年7月からアピアランスケア支援事業として医療用のウィッグ・乳房補整具の費用を2万円を上限とし、補助対象額の2分の1を乗じた額を助成しており、一定の成果をあげている。現在、その治療によって失われた顔の一部を再現するエピテーゼの追加を愛知県は検討しているという。がん治療による外見の変化を補うアピアランスケアには欠かせないが、本市としても、積極的に検討していくべきと考えるのいかか伺う。

A 愛知県が実施する県内市町村への補助事業を基に実施している。エピテーゼの検討についても県の動向を注視していく。

資源物臨時収集拠点(リサイクルステーション)の利用状況について

Q 燃えるごみの減量とリサイクルの推進のために資源物を回収する臨時拠点(リサイクルステーション)を6か所設置した。まだ、開設したばかりだが、利用状況、効果はどのようなか伺う。

A 資源物臨時収集拠点の利用状況については、開設している6か所の合計で、平均して1日500人ほどの来場があり、多くの市民の皆さまにご利用いただいた。利用者からは、「資源物が出しやすい。」「常設にしてほしい。」などのお声をいただいているので、利便性の向上と資源物収集量の増加に寄与しているものと考えている。

■市長提出議案

3月定例会議案等審議結果

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
第2号議案	瀬戸市新型コロナウイルス感染症対策基金条例の廃止について	可決 (全会一致)	第25号議案	令和6年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計補正予算(第3号)	可決 (全会一致)
第3号議案	瀬戸市西部コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の廃止について	可決 (賛成多数)	第26号議案	令和6年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決 (全会一致)
第4号議案	市有財産(土地及び建物)の無償貸付について	可決 (全会一致)	第27号議案	令和6年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決 (全会一致)
第6号議案	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)	第28号議案	令和6年度瀬戸市水道事業会計補正予算(第4号)	可決 (全会一致)
第7号議案	瀬戸市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び瀬戸市職員の育児休業に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)	第29号議案	令和6年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第3号)	可決 (全会一致)
第8号議案	瀬戸市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決 (賛成多数)	第30号議案	令和7年度瀬戸市一般会計予算	可決 (賛成多数)
第9号議案	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決 (賛成多数)	第31号議案	令和7年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計予算	可決 (賛成多数)
第10号議案	瀬戸市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)	第32号議案	令和7年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計予算	可決 (全会一致)
第11号議案	瀬戸市旅費条例の一部改正について	可決 (全会一致)	第33号議案	令和7年度瀬戸市介護保険事業特別会計予算	可決 (賛成多数)
第12号議案	瀬戸市消防団員退職報償金条例の一部改正について	可決 (全会一致)	第34号議案	令和7年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計予算	可決 (賛成多数)
第13号議案	瀬戸尾張旭消防通信指令事務協議会の廃止について	可決 (全会一致)	第35号議案	令和7年度瀬戸市水道事業会計予算	可決 (賛成多数)
第14号議案	瀬戸市と名古屋市との間の消防通信指令に関する事務の委託に関する規約の締結について	可決 (全会一致)	第36号議案	令和7年度瀬戸市下水道事業会計予算	可決 (賛成多数)
第15号議案	瀬戸市自然児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決 (全会一致)	第37号議案	瀬戸市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決 (全会一致)
第16号議案	瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 (全会一致)	第38号議案	瀬戸市国民健康保険条例の一部改正について	可決 (賛成多数)
第17号議案	市有財産(土地及び建物)の貸付について	可決 (全会一致)	第39号議案	瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 (全会一致)
第18号議案	瀬戸市立学校設置条例の一部改正について	可決 (全会一致)	第40号議案	瀬戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 (全会一致)
第19号議案	瀬戸市手数料徴収条例の一部改正について	可決 (全会一致)	第41号議案	令和7年度瀬戸市一般会計補正予算(第1号)	可決 (全会一致)
第20号議案	瀬戸市建築基準法施行条例の一部改正について	可決 (全会一致)	第42号議案	令和7年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決 (全会一致)
第21号議案	瀬戸市広場公園条例の制定について	可決 (全会一致)	第43号議案	令和6年度瀬戸市一般会計補正予算(第11号)	可決 (全会一致)
第22号議案	自動車損傷事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について	可決 (全会一致)	第44号議案	令和6年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	可決 (全会一致)
第23号議案	令和6年度瀬戸市一般会計補正予算(第10号)	可決 (賛成多数)	第45号議案	令和6年度瀬戸市下水道事業会計補正予算(第4号)	可決 (全会一致)
第24号議案	令和6年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)	可決 (全会一致)	請願第1号	市から自衛隊への個人情報提供をやめるよう求める請願	不採択 (賛成少数)

■市長提出議案

議案番号	件名	議決結果
第5号議案	瀬戸市役所支所及び市民サービスセンター設置条例の一部改正について	閉会中の継続審査の申出 継続審査 (賛成多数)

■議員提出議案

議案番号	件名	議決結果
第1号議案	瀬戸市議会委員会条例の一部改正について	可決(全会一致)
第2号議案	瀬戸市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第3号議案	刑事訴訟法における再審に関する規定の改正を求める意見書の提出について	可決(全会一致)

各議員の議案に対する賛否の状況

	自民新政クラブ											公明党 瀬戸市議団	日本共産党 瀬戸市議団			市民の声			新風せと 無所属の会			無会派	無会派	無会派			
議員名	黒柳知世	颯田季央	山内精一郎	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	三木雪実	三宅聡	池田信子	長江秀幸	原誠	新井亜由美	浅井寿美	中川昌也	戸田由久	臼井淳	松原大介	馬嶋みゆき	長江公夫	石神栄治	高桑茂樹	伊藤賢二	
議案番号							議長																				
第 3 号 議 案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第 8 号 議 案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第 9 号 議 案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第23号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第30号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
第31号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第33号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第34号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第35号議案	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第36号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第38号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請 願 第 1 号	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
■ 継続審査の申出																											
第 5 号 議 案	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

左記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載【○】は賛成(採択)【×】は反対(不採択)
議員名は左より会派ごとの議席順に記載。なお、小澤勝議員は議長職のため採決には加わりません。

朝日インテック・ラブリッジ名古屋

女子サッカーなでしこリーグ1部(12クラブ)で活躍する朝日インテック・ラブリッジ名古屋。瀬戸の旧古瀬戸小学校跡地グラウンドを練習拠点に活動しています。現在の所属選手は26人。それぞれの職場で働きながら練習に試合にと日々頑張っています。チームのモットーは「KEEP ON GROWING(成長し続ける)」。

ボールをつないでゴールに迫る攻撃的なサッカーが魅力。今シーズンも3月に開幕し、10月まで22試合を戦います。「去年は3位。今年目標はもちろん優勝です。仕事との両立で大変ですが、皆サッカーが大好きだから続けられます」(垣内愛菜キャプテン/写真右側)。

がんばれ!ラブリッジ名古屋。

※今回は議会だより編集委員の三木議員が取材しました。

3月定例会の主な議案概要と審査内容



総務生活委員会

第5号議案

瀬戸市役所支所及び市民サービスセンター設置条例の一部改正について

概要 令和7年9月30日をもってパルティセと及び菱野団地にある市民サービスセンターを廃止しようとするもの。

Q 市は補足資料を準備した上で、まず市民に意見を聞く必要はなかったか伺う。



A 客観的なデータに基づいた分析をし、1年間の実際の利用状況も踏まえ、同センターを廃止しても利用者に大きな不都合は生じず、市民の意見を聞く必要はないと判断した。

※第5号議案は審査の結果、「廃止はやむを得ないが、廃止するならそれなりのプロセスが必要。市民周知も足りず、拙速である」として継続審査となりました。

厚生文教委員会

第15号議案

瀬戸市自然児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正について

概要 ねむの森のキャンプ施設の使用期間は、現在7月1日から9月30日の夏期に限られているが、1年を通して使用できるようにするもの。1年を通してキャンプを楽しむ人が増えており、近年は夏期に猛暑となることが多く、夏期以外の使用のニーズがある。

Q どんな効果を見込んでいるか。また指定管理料は増額することになるのか伺う。

A 子どもたちが自然に触れ合う機会を多く作ることができ、健全な育成に寄与できる。また指定管理については、年間を通じて維持管理を行う業務となっているので、指定管理料の変更はない。

都市活力委員会

第21号議案

瀬戸市広場公園条例の制定について

概要 児童遊園・ちびっこ広場は、主に児童の遊び場として利用されてきた。少子高齢化や市民ニーズの多様化などに応じた公園づくりを進めていくため、条例を制定するもの。

Q 児童遊園設置条例を廃止し、新たに広場公園条例を制定する目的は何か伺う。

A 児童に限らず、多世代の方々に利用していただける公園とするため制定するもの。



委員会の調査研究課題報告書がまとまりました

委員会で2年間取り組んだ調査研究課題の報告書がまとまりました。

総務生活委員会

- リサイクル推進によるごみの減量
- 公共用地跡地の活用
- ICT活用・DX推進
- 地域防災

議会運営委員会

- オンライン委員会

厚生文教委員会

- 不登校支援について
- 全世代型地域包括ケアシステム

都市活力委員会

- 中心市街地活性化について
- ガラス工芸品を地場産業として定着させるため

報告書は、市議会HPをご覧ください。



一般質問

市の行政課題などについて12人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

会議の様子は会議録や録画映像でご覧になれます。



Q 市議の質問

A 市の回答



自民
新政クラブ
嶋田 季央



「みつば小学校」への統合から考える菱野団地の再生について

Q 菱野団地は再生計画を進めるも10年間で2,000人以上人口が減少し、統合予定の「みつば小学校」校区である瀬戸口駅周辺を住みやすく整備することで人口減少対策につながると考えられるが、瀬戸口駅は南北の土地とホームに高低差があり、南側からの進入に限る動線はバリアフリーの観点に欠けるため、北側からの進入や駅周辺の生活支援施設を含めた面的な整備が必要であるが見解を伺う。

A 北側改札設置については技術面を含め鉄道事業者との協議が必要であり、駅前用地の利活用、生活支援施設など含め利便性の高い駅前空間の整備に取り組んでいく。
(都市計画課)



自民
新政クラブ
山内 精一郎



持続可能な「市役所窓口」の運営を財政の視点から考察する

Q 少子高齢化・人口減少が進む中で、持続可能な「市役所窓口」の運営つまりは、持続可能な行政サービスの提供体制を確保するための方策を伺う。

A 市税などをはじめとする収納業務に加え、各種証明書などの取得がコンビニエンスストアで可能となり利便性が向上した。引き続き、DXの推進によって、更なる市民の利便性向上、労働環境の適正化や職員の働き方改革の実現が必要と考えている。今後、マイナンバーカードの普及を見据えた窓口業務の改善や窓口対応の時間見直しなどを進め、多様化する市民ニーズへの対応に繋げていく。
(行政課)



公明党
瀬戸市議員
池田 信子



公園内の遊具等への市民ニーズの反映について

Q 公園の立地環境により、人口動態や市民ニーズは異なる。市民からの要望などはどのような方法を採用するのが有効か。また、気候変動を見据えた、環境に優しく配慮した公園整備の予定は。施設更新及び維持管理体制を合わせて伺う。

A 自治会や町内会へのヒアリングなど、地域ニーズを確認し事業を実施していく。気候変動の対応として、多世代が安全に利用できる公園となるよう、日よけやベンチなどの設置を順次進める。施設更新及び維持管理体制は、施設管理者だけでは対応が難しい場合は、関係部署と連携し対応していく。
(建設課)



市民の声
白井 淳



14年前に取止めた山路町地内の産業廃棄物処分場計画が再提出された問題

Q 当計画での処分場面積、埋立容量及び受入れる産業廃棄物の種類について、前回の計画の規模・廃棄物処理と比べて何がどう違うのか。また、現在も土砂採取業を行っているにもかかわらず、産業廃棄物処分場計画を受け付けたのは何故か伺う。

A 埋立区域面積は6,100㎡、埋立容量は128,800㎡の増加、廃棄物の種類が特別管理廃棄物を始め15種類に増えている。受け付けた理由は、事業計画の必要事項に不足がなかったことや市が受け付けないことで直接県との手続きが進められ、住民が事業者意見に意見を述べる機会が失われる懸念から、条例手続きを進めるべきと判断した。
(環境課)

本市の水道事業・下水道事業における老朽管対策について



原 瀬戸市議員
日本共産党
誠



Q 埼玉県八潮市での道路陥没事故を受けて本市では緊急点検を行ったか。また、下水道管の点検・修繕はどのような計画で行っているか。

A 1月29日付の国土交通省からの緊急点検要請の対象となる大規模な下水道管は本市にはないので、緊急点検は行っていない。下水道管の腐食環境下の箇所では5年に1度の点検を行っているが、これまでに異状は見つかっていない。本市が管理する管路のうち耐用年数の50年を経過した菱野団地、水野団地、国道、県道、市道などの管路については調査を進めており、調査結果に基づき必要な対策を行っている。(下水道課)

身寄りがない(頼れる人がいない)方への積極的な支援



馬嶋 新風せと
無所属の会
みゆき



Q 身寄りがない方の中には日常生活や将来に困難や不安を抱える方がいる。国は身寄りのない高齢者が直面する課題に対応するため、モデル事業を進めている。また死後事務委任契約などを社会福祉協議会の事業とし、課題の解決に取り組む自治体も既にある。このような積極的支援について、どのような見解か伺う。

A 身寄りのない高齢者が抱える生活上の課題対応は重要性が高いと認識している。市としては先行自治体の取組状況、国の検証結果や制度化の動向などを注視するとともに、まずは福祉総合相談窓口などの体制の充実を図りたいと考えている。
(高齢者福祉課)

旧深川小学校跡地計画再検討及び尾張瀬戸駅東側居住環境について



黒柳 新政クラブ
知世



Q 旧深川小学校跡地計画の事業ストップの理由及び今後の方針について伺う。また尾張瀬戸駅周辺エリアは、居住地としての優位性が高い地域であるが、人口減少が顕著である。狭隘道路など課題解決のためには、点での整備ではなく、面での整備が必要だと考えるが見解を伺う。

A 深川小学校跡地計画については、持続的な行政経営を行う上で、市全体として更なる公共施設の集約、統廃合の検討が必要と判断し事業案を再検討することとした。また、緊急車両が通れないなどの課題解決のために行う面整備は有効であると考えている。(政策推進課・都市計画課)

瀬戸市の農業の今と未来について



朝井 新政クラブ
賢次



Q 令和7年4月よりの組織改編において農業政策を所管する農林課は都市整備部の所管となる。農地転用や農業土木整備などはフロアが同じになり効率的となる反面、農業振興の今後を懸念する。現在取り組んでいる耕作放棄地対策、担い手育成、6次産業化の促進を今後どの様に行っていくのか。

A 組織改編により、農林課は都市整備部の所属となるが、農業は地域資源を活かした6次産業化など、地域産業の振興と活性化につながるものと認識している。これまで同様に庁内の関係部署との情報共有、連携に努め、農業政策の推進に取り組んでいく。(産業政策課、現：商工観光課)

本市の今後の公共交通の在り方について



柴田 新政クラブ
利勝



Q 本市は公共交通の取り組みについて15年が過ぎた。これまで地域の要望等考慮しながら市民の利便性を充実させてきた。持続可能な公共交通を目指し、デマンド交通の実証実験に取り組んでいる。今後の公共交通の展開について伺う。

A デマンド運行に関しては、現在品野と本地地区で実証実験を行い、利用状況について検証している。場所やその利用方法によって交通利便性を高める手段である。今後は地域に合ったデマンド運行の導入に向け、地域運行協議会などと協議を進めていく。
(都市計画課)

老人福祉センターの入浴施設について



三宅 公明党
聡



Q 本年3月末をもって、やすらぎ会館の3階にある老人福祉センターの入浴施設が閉鎖されることとなった。オープン時に比べ利用者は減ったものの入浴を楽しみに来られる方々もいらっしゃるのが現状である。施設の老朽化、費用対効果の低下は看過できないが、何らかの代替案を示すべきと考えるが如何か。

A まだ介護保険制度が無い時代(平成5年)から当施設はサービスを開始した。今日まで老人福祉に資するサービスは様々な形を変え実施されており、入浴に関しては通所介護、訪問介護の中でもサービスがあり、これらのご活用もお願いしたい。
(高齢者福祉課)

防犯灯の管理を町内会・自治会から市へ移管してはどうか



松原 新風せと
大介



Q 防犯灯は、市民の足元の安全確保という都市機能として当然あるべきベーシックサービスになっているのではないかと。また町内会・自治会の事務負担を軽減することで、本来の住民自治活動に傾注できるのではないかと。

A 夜間に防犯灯などによって日常生活に必要な照度を確保することは、安全安心なまちづくりにとって必要な都市機能であるので行政地域などが協働し取り組む必要がある。また、事務負担を軽減することも大切だが、一方防犯灯の設置維持管理について、地域の皆様で話し合うことで意識が高められ、自治意識向上に繋がる。(生活安全課・まちづくり協働課、現：コミュニティ推進課)

修学旅行で安全に大阪・関西万博へ行くことができるか



新井 日本共産党
亜由美



Q 令和7年度、修学旅行で万博へいく学校が6校(小5中1)あるが、会場となる夢洲はごみ処理場であり有害ガスが発生している。昨年3月に爆発事故が起き、事故のあったエリアの建物は、ガスの強制排気とガス検知器設置がされることになった。現時点で完成していないため下見もできず、博覧会協会のオンライン説明会の参加のみである。修学旅行の行き先として万博は相応しくないのではと考えるが教育委員会の見解を伺う。

A 協会が実施した説明会においてメタンガス対策についての説明もあり、安全対策が実施されることを確認している。(学校教育課)



5月臨時会開催予定

- 5月 9日(金) 本会議
 12日(月) 本会議
 14日(水) 総務生活委員会・厚生文教委員会
 15日(木) 都市活力委員会

6月定例会開催予定

- 6月 10日(火) 本会議 (開会・議案上程・説明)
 13日(金) 本会議 (一般質問)
 16日(月) 本会議 (一般質問)
 17日(火) 本会議 (一般質問・議案質疑・委員会付託)、予算決算委員会
 18日(水) 総務生活委員会、
 予算決算委員会総務生活分科会
 19日(木) 厚生文教委員会、
 予算決算委員会厚生文教分科会
 20日(金) 都市活力委員会、
 予算決算委員会都市活力分科会
 24日(火) 予算決算委員会、議会運営委員会
 26日(木) 議会運営委員会
 27日(金) 本会議
 (委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時(5月14日の厚生文教委員会は午後1時)からの開催予定ですが、日程が変更される場合があります。
 ※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。
 ※請願・陳情の提出締切は、5月27日(火)の午後5時です。

編集後記

- 3月定例会は令和7年度の瀬戸市の予算を決める議会でした。過去最大規模の予算案について活発に質疑された結果の一部を特集ページに掲載しました。
- また今回は、議会としてどう向きあうのか侃々諤々の議論の末「継続審査」という、瀬戸市議会でもあまり前例のない結果となった議案がありました。これまで取り組んできた議会改革の足跡の一つととらえ、更なる議会活性化に向けて邁進してまいります。



※5月のせとまちトークは開催を見送ることになりました。

ご意見・ご感想はこちらから



問合せ先／議会事務局 議事課 (市役所5階)

☎88・2740 E-mail▶giji@city.seto.lg.jp

編集・発行／瀬戸市議会 〒489-8701 瀬戸市追分町64-1

テレビ番組



グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは!瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

3月定例会の番組内容は「3月定例会の結果報告」や、「委員会の調査研究結果報告」などについてお送りしました。

次回放送予定

4月28日(月)～5月4日(日・祝)

放送時間 7:10～、9:10～、12:10～、
 18:10～、20:10～、22:10～

番組がご覧になれます。



ラジオ番組



RADIO SANQ「せとまちラジオ」(FM84.5MHz)

放送の前半は定例会のお知らせや結果報告、後半では瀬戸市議会についてなど議員が語るコーナーもあります。どんな思いが語られるのかどうぞお楽しみに。

次回放送予定

6月11日(水)、7月9日(水)

放送時間 9:20～、12:30～、18:00～、24:00～

RADIO SANQホームページから
 過去の放送分もお聴きいただけます。



傍聴



傍聴をご希望の方は、北庁舎5階の議会事務局にお越しください。

インターネット中継



会議の様子をライブ配信(生中継)・録画配信しています。ホームページからアクセスしてください。

スマートフォン・
 タブレットでも!

瀬戸市議会ホームページ
 SNS、YouTubeをチェック!



サイト・アプリでも
 議会だよりをチェック!

